

公民館はじめの一步支援事業(新規)

島根の現状

- 「小さな拠点づくり」に向けた住民の意識醸成が必要
- 「教育の魅力化」を推進するための組織づくりが必要

要因 公民館等(職員)の自信の喪失

- ・マンパワーの不足 ・研修機会の減少
- ・人口減少、少子高齢化 ・地域力の低下
- ・市町村の支援体制の脆弱化 ・予算の減少
- ・地域課題の複雑化・多重化

公民館等の現状

- 地域課題を解決していく取組を進める公民館等の増加
- 地域貢献活動する地域住民を育成する公民館等の増加

公民館間、地域間の格差



- 事務局業務などに忙殺され、人を集めたり、学びの場の提供でにくい公民館等がある。
- 公民館等に対する研修の場が少なく、学びによる事業や活動の変化が見られにくい。

地域課題の解決に不可欠なのは「人づくり」
「人づくり」の拠点は公民館

事業概要

公民館等が地域における役割を認識し、「人を集わせる」「学びの場をつくる」等の取組を通して、「地域を担う人づくり」に向かって進んでいく公民館等の育成支援を行う。

県内において「人づくり」機能の空白をつくらないために、「新しい動きに手が出せない」「自信がない」公民館等を一步前に進める取組が必要

- 公民館等(職員)自体に自信・意欲をもたせる仕掛け
- 公民館等をサポートする市町村の意識改革、支援体制の構築

○事業費計 2,500 千円(5 市町村公連程度を想定)

県公連

補助

市町村公民館
連絡協議会等
[市町村]
[派遣社会教育主事]
(上限 500 千円)

① はじめの一步チャレンジ(1 公民館等上限 100 千円)
集わせる・学びの場をつくる等の取組の実践

② 継続的な研修実施(1 市町村公連上限 100 千円)

③ 成果発表会・フォーラムの開催(1 市町村公連上限 100 千円)

※ ①必須、②または③のいずれか必須(両方可)

支援

社会教育課社会教育主事
東西社会教育研修センター社会教育主事

期待される効果

- 本来求められる公民館機能を有する公民館等の増加
- 「小さな拠点づくり」「教育の魅力化」に向かうための地域力の向上